

情報通知

1. 研究課題名

新人理学療法士の臨床能力はいつ伸びるのか？—CEPT による 3 年間の縦断データを用いた線形混合モデル解析—

研究の実施体制：

- ・研究責任者：沼田脳神経外科循環器科病院 リハビリテーション課 柿間 洋信(理学療法士)
- ・研究分担者：同上 谷 友太(理学療法士)、志摩 耕平(理学療法士)、群馬パース大学 林 翔太(理学療法士)、文京学院大学 五十嵐 達也(理学療法士)

研究の目的：新人理学療法士の卒後教育では、臨床能力を客観的に評価し、その結果を教育へ還元することが重要です。しかし、臨床能力が卒後 3 年間でどのように変化し、その向上時期が能力領域によって異なるかは明らかにされていません。

当院では新人教育を 3 年間とし、プリセプター制度による OJT と勉強会および症例検討を中心に構成した教育プログラムを展開しています。以上を踏まえ、本研究の目的は、理学療法における臨床能力評価尺度(Clinical Competence Evaluation Scale in Physical Therapy:CEPT)を用いて新人理学療法士の臨床能力を縦断的に評価し、領域ごとの経時的変化と具体的な向上時期を明らかにすることです。領域ごとの成長パターンを把握することで、経験年数に応じた段階的な教育内容の検討や個別指導に活用できる効果的かつ実践的な戦略の構築につながると考えられます。

研究の対象：2019 年以降に沼田脳神経外科循環器科病院へ入職し、3 年間の新人教育プログラムを受け、リハビリテーション業務を行った理学療法士 34 名を対象とします。当院のデータベースの情報をそれぞれ見返して、情報を集めさせていただきます。対象となることを希望されない方は、最下部の連絡先までご相談ください。

収集する情報：入職年、経験年数、教育プログラムの実施記録、および入職 6 か月後から 6 か月ごと計 6 回(計 36 か月間)に実施された理学療法における臨床能力評価尺度(CEPT)の全 53 項目、それを構成する 7 領域(基礎知識・臨床思考・技術・コミュニケーション・態度・自己教育・自己管理)の評価得点となります。

情報の保管および破棄、情報公開の方法：データを解析する段階では、個人を特定できる情報は含まれません。検査結果(評価結果)は Excel への出力および ID 番号を用いて対応表にて管理します。ファイルはパスワードでロックし、パソコンは施錠可能な室内にて保管します。ファイルの移動に関しては、パスワードでロック可能な USB を用いて行います。研究終了後

のデータの取り扱いとして、デジタルデータはいかなるソフトウェアでも復元できないよう PC 上で完全に削除します。

得られた結果については論文あるいは学会で発表することがあります。

見込まれる医学・教育上の貢献：新人から 3 年目までの臨床能力の変化や成長パターンが可視化されることで、リハビリテーション専門職における効率的・段階的な新人教育プログラムの構築に寄与します。また、強化すべき能力が明確になるため、指導方法の改善や個別のフィードバック体制の質向上につながる知見が得られると考えられます。

研究に関する問い合わせ先：

沼田脳神経外科循環器科病院 リハビリテーション課

0278-22-5052(内線:5431)

担当者:柿間 洋信